

【科目名】園芸療法マネジメント		
【期 別】後期（9～2月）	【区 分】必修	【種 別】講義
【単位・コマ数】2単位・15コマ	【時間数】22.5	
【主任教員】○豊田 正博（5）		○は成績評価者
【分担教員】○グロッセ世津子（10）		○は成績評価者
【授業のねらい】 臨床現場における園芸療法実践のための総合的なマネジメント能力を養う。		
【担当教員】	【授業予定】	
豊田 正博 寮・通2年次合同 11/16（水）1-5限	≪1-4限≫ ・ マネジメント概論 ・ 植物管理に関するマネジメント 実習・実践施設の活動環境評価： 施設の主な利用者像を設定し、園芸療法目標・活動概要・年間栽培暦・予算を作成する。 ≪5限≫ ・ コーチングの技術（園芸療法実習スーパーバイザーのあり方）	
グロッセ世津子 寮・通2年次合同 12/7（水）1-5限 1/11（水）1-5限	目的：ワークショップ形式による授業全体を通して、マネジメントの基本、場づくり・関係作りを体験し、学ぶ。 ≪1-7 限≫ プログラムマネージメント ・ 緩やかな関係作りワークショップ ・ インタビューゲーム ・ 現場に学ぶ ① 老人福祉施設におけるプログラムの立ち上げと課題への対応の仕方 ② セッションにおける場づくり・関係づくり ③ セッション中の情報収集→分析→プログラムデザイン→実行→反省→向上の力 ・ ディスカッション「現場に学ぶシリーズを通しての学びと気づき、見えてきた課題」 ≪8-10 限≫ セルフマネージメント ・ ワークショップ「視点を変える・発想の転換」 ・ 自己表現ワークショップ「自分を知る・自分をケアする」 ・ ワークショップ「言葉を生みだす力・語彙を豊かにする力」 ・ セラピストの心得 ・ ディスカッション「全体を通しての気づきと学びそして私の課題」	
【予習課題】		
豊田 正博：	ご自身の園芸療法実習施設またはボランティア実施施設における環境評価に関する情報を当日持参してください。	
グロッセ世津子：	12/7：「園芸療法のこころ」を読んで、園芸療法士にとって具体的にどんなことが参考になったかをまとめる。 1/11：「関係障害論」を読んで、園芸療法士にとって具体的にどんなことが参考になったかをまとめる。	
【購入図書】		
グロッセ世津子：	・ 「園芸療法のこころ」（グロッセ世津子、ぶどう社、2003年、1600円＋税） ・ 「関係障害論」（三好春樹、雲母書房、1997年、2625円＋税）	
【参考図書】		
グロッセ世津子：	・ 「自然が正しい」（モーリス・メセゲ、地涌社、2010年、2800円＋税） ・ 「江戸しぐさを日本しぐさに」（新潟江戸しぐさ研究会、1000円）	

【成績評価の方法】	
豊田 正博：	【授業後課題】 これから自分が行う園芸療法の環境（実習施設の環境も可）を各自設定し、1年間の栽培計画と費用、管理者などについてパワーポイントにまとめなさい。
グロッセ世津子：	【課外課題】 クロッキー帳使用 各授業の気づきをまとめる。自然や植物に関する日々の気づきを記録する。 【授業後課題】 1) 各講義を通した気づきと学びを記録したクロッキー帳 2) 日々の植物や自然との触れ合いについて記録したクロッキー帳 3) 課題図書を読んだの気づきと学びのレポート 4) 授業全体を通しての気づき、学び、自ら見えてきた課題等をまとめたレポート 上述の提出物の内容を総合的（特に問う力、観察力、洞察力、発想力、想像力、感性という観点から）に評価する。
【受講生への希望】	
グロッセ世津子：	・ A4版くらいのクロッキー帳一冊を用意すること。 ・ 動きやすい服装で参加すること。 ・ 予習課題は、各自授業中に発表し、後日提出してもらいます。